



東陽の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和5年6月30日（金）No 12発行
文責：松本 卓也

中体連と書いて“感謝”と読む

～努力の過程は人をつくり、結果は思い出をつくる～

24日（土）、25日（日）に八代中体連が開催されました。男子バレーボール部は、体調不良者が出て残念ながら棄権となりましたが、「自分たちにやれることをやろう！」と、補助員として協力してくれました。参加したくてもできなかった悔しい思いを持ちながらも、裏方に徹するその姿は、大変立派でした。閉会式では、他校の校長先生からも、その姿へ賞賛と感謝の言葉をいただきました。バドミントン部は、目標としていた団体戦2回戦突破に向け、男女とも1回戦から激闘を繰り広げました。男子団体戦では、第1ダブルス勝利、シングルス敗退の1対1で迎えた第2ダブルス、フルセットまでもつれ込む熱戦を繰り広げましたが23-25で惜しくも敗退となりました。女子団体戦も1対1の同じ状況となりましたが、第2ダブルスを競り勝ち、見事1回戦突破を決めました。2回戦では強豪の八代二中に破れ、目標は達成できませんでしたが、懸命にシャトルを追い続け、最後まで諦めないプレーを見せてくれました。2日目の個人戦も、大健闘！！男子シングルスベスト16に2名入賞する等、どの選手も負けることを恐れず、試合を楽しみながら相手に挑んでいました。27日（火）の全校集会では、



【男子バレーボール部】



【バドミントン部】

「団体戦では、見ている人が感動するような熱い試合をすることができました。2日目の個人戦も、皆さんの応援のお陰で全員がベストを尽くし、納得のいく試合ができました。1・2年生は、これからきつい練習にも耐えて乗り越えていってください。3年生は、皆さんのことを応援しています。（バドミントン部キャプテン）」
「残念ながら欠場となりましたが、参加について話し合い、チームがさらに一つにまとまりました。校長先生から言われた『これまで努力してきたことは決して消えることはありません。』の言葉を胸に、3年後の高校総体に向け、これからも前を向いて行こうと思います。来年こそ、優勝を目指してください。（男子バレーボール部キャプテン）」

と中体連への思いを述べてくれました。

自分を信じて、仲間を信じて、最後まで懸命に努力し続けた3年生の姿は、後輩たちの良き道しるべになりました。部活動を通して学んだことを、今後の人生の糧としてください。また、これまで支えてくださった監督やコーチ、チームメイト、保護者の方々への感謝の思いも忘れないでください。感動をありがとうございました。最後になりましたが、お忙しい中、温かいご声援をいただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

本によって読み方を変えています

22日（木）、朝自習の時間に「読み聞かせ」を実施しました。昨年度もお世話になった「読み聞かせの会（木曜の朝に）」のH様、K様、Y様に、図書館の方と相談しながら選書して下さった本を子どもたちに読んでいただきました。自宅で時間を計りながら練習したり、YouTubeを参考に本によって読み方を変えたりされる等、大変な準備をされていることもお聞きしました。聞き取りやすいスピードで表情豊かな語り口に、子どもたちも自然と物語の世界に引き込まれていました。



「異文化たいむ」～世界のことを学ぼう～

23日（金）、出前講座「異文化たいむ～世界のことを学ぼう～」を行いました。講話をして下さったのは、JICA海外協力隊OBのTさん。アフリカ南部に位置するザンビア共和国に2年間派遣されていました。協力隊員として活動していく中で、「例え理解し合えなくても、顔を合わせてよく対話することが大事」、「実際に経験よりも価値がある」等、多くのことを学んだそうです。多様な他者と協働していくために、とても大切なことを教えていただきました。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）